

団体名：てんとうむしガーデン組合

代表者：松岡 諄

所在地：岐阜県加茂郡東白川村

〔ポイント〕

学校給食のための農産物生産・出荷を平成13年から開始。東白川村および中津川市加子母（旧加子母村）の小中学校4校548名（H20）が対象。学校給食センター（中津川市・東白川村食と文化の館）で扱う食材の約30%を提供。食農教育として平成12年から村内小学校で野菜・水稻栽培を指導。

平成18年から村内でグリーン・ツーリズムの推進を行う「東白川村里山アカデミー」企画の「野菜づくり体験」を指導。農閑期のJA育苗施設を有効利用し、主に都市近郊から訪ねてくる参加者の農業体験を支援。

【活動内容】

- 1．道の駅に併設された直売所で地場産野菜等を販売。地場産野菜を使った特色ある料理をレストランで提供。
- 2．学校給食への食材安定供給のため、食材提供組合の一員として連携。村の支援により開設された「茶の里野菜村」での活動の継続。
- 3．「顔が見え、話しができる」取り組みとして、5名程度のスタッフが常時勤務し、直接活動を実施。
- 4．平成14年、道の駅「茶の里東白川」に併設するかたちで開設した直売所・レストラン「茶の里野菜村」を運営。
- 5．地域特産物の生産・加工技術等の伝承
茶の里野菜村」レストランで郷土食を提供。
- 6．活動の成果として、
学校給食への食材提供、農業体験指導等各取り組みの中で、会員の意識に変化が見られるようになった。

様々な背景を持つ生産者が集まり活動を始めたため、当初、発注通りの納品に対する意識は高いとは言えないものであったが、会員同士の話し合いや、関係機関の支援により会員それぞれに生産者としての責任が芽生えた。指導者が代変わりしながらも活動が継続されていることが、その成果といえる。また、これまでの活動は、てんとうむしガーデン組合を、村を代表する一組織へと成長させ、ある意味村の広報役としての役割も果たすようになった。このことは、会員が生き生きと活動する原動力ともなっており、活動理念を支えている。